

檔 號：

保存年限：

中華大學學校財團法人中華大學 函

機關地址：30012新竹市香山區五福路二段
707號承辦人：林佳怡
電話：03-5186876
傳真：03-5373771

受文者：國立臺北科技大學

發文日期：中華民國108年10月14日

發文字號：中華應日字第1080003450號

速別：普通件

密等及解密條件或保密期限：

附件：《中華日本研究》中文、日文徵稿通知、『中華日本研究』投稿規程、執筆要綱、《中華日本研究》投稿樣式(ATTCH2 A095N0000Q0000000_34501_0003450A00_ATTCH2.odt、ATTCH3 A095N0000Q0000000_34501_0003450A00_ATTCH3.pdf、ATTCH4 A095N0000Q0000000_34501_0003450A00_ATTCH4.pdf、ATTCH5 A095N0000Q0000000_34501_0003450A00_ATTCH5.pdf)

主旨：檢送本校應用日語學系《中華日本研究》學報第十一期徵稿之相關資料，如說明，請惠予公告週知貴校相關系所師生並請踴躍投稿，請查照。

說明：

- 一、《中華日本研究》學報第十一期之截稿日期為108年11月10日，預定109年6月底出刊。
- 二、檢附《中華日本研究》中文、日文徵稿通知；相關資料請參閱網址：

<http://aj.chu.edu.tw/p/404-1035-13978.php?Lang=zh-tw><http://aj.chu.edu.tw/p/412-1035-635.php?Lang=zh-tw>

正本：公私立大專校院

副本：本校應用日語學系



校長 劉維琪

『中華日本研究』投稿について：投稿用紙と論文																			
本文の様式																			
1. 投稿用紙は MS Mincho、Times New Roman 各 12p、新細明																			
體で書いてください。																			
2. 投稿用紙・論文本文ともに書式は A4・横書																			
き・40 字 × 30 行（英文は字数無関係で 30 行）																			
で作成してください。各ページの余白は、上																			
下各 2.5cm、左右各 2.4cm に設定のうえ、投稿用																			
紙と論文本文は 1 つの word 形式のファイル																			
に作成してください。格式為 A4・横寫・40 字																			
× 30 行。境界設定為上下各 2.5cm、左右各																			
2.4cm。檔案格式為 Word 檔，摘要與本文請合併																			
為一個檔案。																			
3. 付記事項などは原稿採択後に挿入するものと																			
します。																			
4. 本文字数の上限等は投稿規定を参照してくだ																			
さい。参考文献の例は本文末尾に示してあり																			
ます。																			











投	稿	題	目																
作	者	姓	名																
投	稿	者	所	屬	單	位													
摘	要	(	最	多	400	字	)												
關	鍵	詞	(	最	多	五	個	)											



2	.	...	...	...
---	---	-----	-----	-----

[illegible]

¹ TEXT TEXT TEXT (10p)。

[illegible]

2019 年 10 月 7 日

《中華日本研究》徵稿通知

中華大學《中華日本研究》編輯委員會

中華大學《中華日本研究》編輯委員會編輯之『中華日本研究』第十一期已開始徵稿。歡迎日本研究相關學者踴躍賜稿，以光篇幅。又，本期刊自第六期起改為電子期刊，不再印製紙本刊物。

事項如下：

一、**投稿截止日期**：2019 年 11 月 10 日寄達本學報收件處。

二、**投稿規定及寫作綱要**：請參考中華大學應用日語學系網頁所刊載之「投稿規定」及「寫作綱要」。

<http://aj.chu.edu.tw/p/412-1035-635.php?Lang=zh-tw>

三、提出稿件

請提出下列 2 份檔案。

1. 附加檔案 1(稿件第 1 項)：

題目、姓名、所屬(所屬機關名、學院或學系)、英文摘要(100 字內)、中文摘要(400 字內)、日文摘要(400 字內)、關鍵字(各 5 個以內)、聯絡方式(郵遞區號、地址、email)

2. 附加檔案 2 (稿件第 2 項)：

本文、註腳(footnote)、參考文獻、(此份檔案內請無須標明姓名、所屬等與投稿者本身相關之資訊)

四、徵稿提交處

請提交至下列地址：

◇ **收件人**：中華大學人文社會學院應用日語學系「中華大學日本研究編輯委員會」。

◇ **E-mail**：chukajpn01@gmail.com 副本: aj@g.chu.edu.tw

◇ **連絡電話**：03-5186876

另外，於論文提出前，請 e-mail 至 aj@g.chu.edu.tw 聯繫。

五、著作權同意書與審查費

1.請至本系網站 <http://aj.chu.edu.tw/p/412-1035-635.php?Lang=zh-tw> 下載著作權同意書共三種版本，填寫後請簽名蓋章，並以掛號方式寄至本委員會。

2.請於稿件提出截止日前(2019 年 11 月 10 日)一篇論文繳交審查費 2000 元，

請以現金袋掛號繳交，並寄送至下列地址：

◇ **收件人**：中華大學人文社會學院應用日語學系「中華大學日本研究編輯委員會」

◇ **地址**：(300-12)新竹市香山區五福路二段 707 號

中華大學人文社會學院應用日語學系

◇ **連絡電話**：03-5186876

2019 年 10 月 07 日

『中華日本研究』原稿募集のお知らせ

中華日本研究編集委員会

中華日本研究編集委員会では、『中華日本研究』第 11 期の原稿を募集いたします。投稿を希望される方は、下記の要領にて原稿を提出してくださいようお願いいたします。尚、本ジャーナルは第 6 期より電子版のみの発行となっております。

1. 原稿提出の締め切り及び発行予定日

原稿提出の締め切りは 2019 年 11 月 10 日（日）です。発行は 2020 年 7 月ごろを予定しています。

2. 投稿規定及び執筆要綱

中華大学応用日本語学科のホームページ内 (<http://aj.chu.edu.tw/p/412-1035-635.php?Lang=zh-tw>) の投稿規定及び執筆要綱をご参照ください。

3. 提出原稿

下記の原稿 1、2（ワード文書及び PDF ファイル）をご提出ください。

(1)原稿 1（原稿の第 1 項）：

題目、氏名、所属（所属機関と部署名—学部あるいは学科—）、英語、日本語、中国語の要旨及びキーワード（英語要旨：100 単語以内、日本語要旨：400 字以内、中国語要旨：400 字以内、各言語におけるキーワード 5 語以内）、連絡先（郵便番号・住所・メールアドレス）を書いたもの

(2)原稿 2（原稿の第 2 項）：

本文、脚注(footnote)、参考文献を書いたもの（原稿 2 には、氏名・所属など投稿者が判明するような情報は記載しないでください。）

原稿の提出は電子メールの添付ファイルで以下にお送りください。

宛先：中華大学人文社会学部応用日本語学系内「中華日本研究編集委員会」

電子メール：chukajpn01@gmail.com

尚、原稿を提出される前に aj@g.chu.edu.tw に投稿を希望される旨、ご一報くださいますようお願い申し上げます。

4. 著作權讓渡同意書及び投稿費

著作權讓渡同意書（日本語版、中国語版、英語版の3種類）を中華大学応用日本語学科のホームページ内（<http://aj.chu.edu.tw/p/412-1035-635.php?Lang=zh-tw>）よりダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、ご署名・ご捺印ください。

また、原稿提出の締め切り日（2019年11月10日）以前に、1論文につき投稿費2000元を現金書留にて著作權讓渡同意書と共に下記の住所までご郵送ください。

住所 : 〒300-12 新竹市香山区五福路2段707号
 中華大学人文社会学部応用日本語学系内「中華日本研究編集委員会」
電話 : 03-518-6876

5. 問い合わせ

ご不明な点がございましたら、下記へご連絡ください。

電子メール : chukajpn01@gmail.com
住所 : 〒300-12 新竹市香山区五福路2段707号
 中華大学人文社会学部応用日本語学系内「中華日本研究編集委員会」
電話 : 03-518-6876

以上



『中華日本研究』投稿規程（2018 年 10 月 8 日改定）

1. 投稿資格・投稿費

投稿者の資格は問わない。投稿費は論文 1 本につき 2000 元とする。

2. 論文審査

編集委員会の審査および（または）外部の匿名審査委員の審査を経て採択の可否を決める。なお、投稿された原稿は採択の有無に関係なく返却しない。

3. 投稿原稿の種類と内容

論文……………従前の研究成果に対する考察が十分に行われており、新規性や独創性が見られるもの

研究ノート…アイデアにユニークさがあり、将来の研究に資するもの

調査報告……日本に関連した調査や報告
（実践報告）

書評……………日本に関係する著作の書評

4. 投稿方法等

執筆要綱に従い日本語・中国語・英語のいずれかで執筆した完成原稿を編集委員会宛てに電子メールの添付ファイル（ワード：Word）で送付する。

5. 投稿先

chukajpn01@gmail.com

6. 投稿原稿の受付

投稿は基本的に随時受け付ける。原則として少なくとも 4 月末までに採択が確定した原稿については当年発行号（本誌は年 1 回発行を原則とし、毎年 6 月に発行予定）に掲載される。

7. 投稿原稿数

同一号に掲載される論文（研究ノート等を含む）は一人 2 本までとする。

8. 第一次審査

編集委員会で第一次審査を行い、第一次審査を通過したものだけが本審査に付される。第一次審査で、(1) 独創性あるいはユニークさに欠ける（論文・研究ノート）、(2) 非科学的もしくは非論理的である、(3) 文法的なミスなど日本語・中国語・英語に大きな問題がある、(4) 雑誌の目的に適合しない、と判断された場合は不採択となる。なお、論文の内容次第では第一次審査の段階で採択が決定されることもある。

8. 論文の修正

編集委員会は編集会議および（あるいは）外部の匿名審査委員の報告に基づいて投稿者に投稿論文の修正を求めることがある。修正を求められた投稿者は指定された期限までに、(1) 修正を要求された事項に対してどのような修正を行ったかを説明した文章、(2) 修正を施した原稿、を再提出するものとする。期限までに提出しない場合は不採択とする。

執筆要綱

1. 様式

- ①原稿：ワード（Word）文書、A 4 用紙横書きとする。
- ②日本語使用の場合：文字サイズ（12 ポイント）、40 字×30 行、MS 明朝体
- ③英語使用の場合：文字サイズ（12 ポイント）、30 行、Times New Roman 体
- ④中国語使用の場合：文字サイズ（12 ポイント）、40 字×30 行、新明細体

2. 分量

- ①題目・要旨・執筆者名・所属・図表・参考文献・脚注（footnote）などすべてを含め 25 枚以内とする（日本語・中国語換算で 3 万字以内）

3. 原稿の構成

- ①日本語原稿・中国語原稿・英語原稿共通

第 1 項……題目（日本語・英語・中国語）、氏名（漢字等・英文）、所属（所属機関と部署名一学部あるいは学科一、漢字等・英文）、要旨（日本語・中国語原稿は原則 400 字以内、英語原稿は原則 100 単語以内）、キーワード（日本語・英語・中国語のキーワード、各言語 5 語以内）、連絡先（郵便番号・住所・メールアドレス、漢字等・英文）。謝辞等は原稿採択後に追加するものとし、原稿送付時には記載しない。

第 2 項以下…本文、脚注（footnote）、参考文献。2 ページ目以下には氏名・所属など投稿者が判明するような情報は掲載しない。

4. 章立て

- ①章・節・項については全角算用数字を使用する。

（例） 3. 生成文法と認知言語学
 3. 1. 生成文法
 3. 1. 1. 生成文法の概要

5. 引用

- ①本文および注において先行研究を引用する際は、引用元を（著者名，刊行年：ページ数）で記載する。

（例） …との結果が得られた（李，2008：12）。
 陳（2008）によると、…である。

なお、著者が 2 名のときは、王・林（2007）、3 名以上の場合は、呉他（2006）とし、英文の場合は、Wu et al.(2006)とする。ただし、参考文献としては著者全員の氏名を記載する。また、複数の文献を参考にする場合は、セミコロンを用いて（江，2005；楊，2004a，2004b）とする。

6. 注記

- ①注は脚注（footnote）とする。文章の終わりに算用数字（上付き 4 分の 1）を用いて通し番号で示す。注の通し番号は半角上付き 4 分の 1 を使用し、注が複数行になるときは 1 行目だけを 1 文字下げる（右へずらす）。

- (例) 劉銘傳が……と主張したことは間違いない¹。
 文天祥は諸葛亮の影響を受けていると考えられている²。

¹ この問題について、……………。

² もっとも、この点については反対説もある。……………
 反対説は、……………
 しかしながら、……………。

7. 参考文献

- ①参考文献は著者の姓によるアルファベット順とし、記載方法は、著者名、刊行年、タイトルの順とする。雑誌論文については、タイトルの後に雑誌名、巻(号)、掲載ページを書く。読者の便宜を考慮し、紀要論文に関しては紀要名に発行大学名がない場合は大学名を記載する。単行本の場合、タイトルの後に出版社と出版地(日本の場合は省略可、英文の場合は日本の出版社でも必要)を記す。単行本の一章の場合は、著者名、刊行年、タイトル、編者名(編著者名)、書名、掲載ページを記載する。文献が2行以上になるときは、2行目以降を2文字下げる(右へずらす)。

(例)

- カエサル, ユリウス著、源頼家訳 (2006) 『ガリヤ戦記と吾妻鏡』 得宗書店
 加藤週一 (2018) 『狼の歌』 荒波書店
 源頼朝・北条政子・三浦義明 (2008) 「吾妻鏡と北条氏」 『大盛山大学歴史研究』 2 巻 2 号、pp. 33-44
<https://www.rekishu.omoriyama-u.ac.jp/2008/yoritomo.pdf> (2018 年 9 月 1 日取得)
 紫式部 (2006) 「源氏物語と日本語文法」 藤原道長編著 『平安時代の日本語』 鎌足堂学術書店、pp. 55-66
 平清盛・平重盛 (2009) 「平家物語と坂東平氏」 『文学研究』 六波羅大学、1 巻 1 号、pp. 11-22
 吉田兼好 (2009) 「徒然草研究基本資料」
<http://www.yoshidakenko.co.jp/yoshida0901.pdf> (2009 年 3 月 5 日取得)
 杜 浦 (2017a) 「從唐宋間之貴族文化論日本源氏物語」 『東亞日本文史學研究』 1 巻 1 期、pp. 1-20
 _____ (2017b) 『日本源氏物語之研究』 臺北：加東出版社
 Naoe, K.(2009). A note on Kagekatsu Uesugi and his relatives.
<http://www.naoekanetsugu.co.jp/naoe0902.pdf> (Accessed March 12, 2009)
 Minamoto, Y.(2008). Languages in East Asia. Tokyo: Tokuso Publishing.
 Takeda, A., B. Ashikaga, and C. Satake(2009). Yoritomo and his wife. Journal of GENJI Studies, 1(1), 11-22.
 Toyotomi, H.(2007). Nobunaga's policies to reunify Japan. In Tokugawa, I. ed.,

中華日本研究／投稿規定・執筆要綱

Handbook of Nobunaga Oda. Kyoto: Ashikaga Publishing, 345-367.

